

# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （1）働きやすくする【1/2】

### ◇取組内容

#### ○農産物等のブランド化・生産拡大の推進

### 【令和2年度 主な取組】

#### ①リーディング品目支援事業【R2年度予算 7,032千円】

本県農業を牽引するリーディング品目の産地生産力・品質の向上、ブランド力強化、消費拡大を推進

##### ○継承できる柿産地振興事業

・高品質果実生産に係る技術実証、縮伐・せん定見本園設置に対し補助

##### ○高級大和茶生産販売促進事業

・米国向け輸出茶生産支援および耕作放棄地茶園の整備への支援

#### ②首都圏等への農産物の物流・商流確保支援事業【R2年度予算 4,035千円】

首都圏での県産農産物の販売を増やすため、物流・商流の確保を支援

##### ・運送業者とのマッチング商談会

・小売店・飲食店向け個別配送への支援

・バイヤー・市場関係者への売り込み

・商談会にブース出展

#### ③農地マネジメント推進事業【R2年度予算 74,059千円】

担い手への農地の集積を推進するため（公財）なら担い手・農地サポートセンターによる農地の出し手・受け手のマッチングを実施。センターが実施する農地の賃借による担い手への農地集積。一定割合以上の農地を貸し付ける地域や貸付けにより離農・経営転換する者等に対し、協力金を交付

#### ④多面的機能支払事業【R2年度予算 287,614千円】

農地及び農業用施設の保安全管理活動や多面的機能の維持管理のための取組等を地域ぐるみで行う活動組織に対し、国の制度と連動し、交付金を交付

農業生産資源の基礎的保全活動や多面的機能の維持・発揮を支える共同活動への交付

#### ⑤鳥獣被害防止対策事業【R2年度予算 375,429千円】

被害防止計画に基づき市町村が実施する鳥獣被害防止対策に対し補助

・被害防除の研修、捕獲活動、緩衝帯整備等

・地域が一体となった侵入防止柵等の整備

集落ぐるみの被害対策活動を推進

#### ⑥県営農地環境整備事業【R2年度予算 70,580千円】

中山間地域の鳥獣害対策や耕作放棄地対策を行うため、計画的かつ一体的に農地環境を整備  
事業実施箇所：明日香地区 ほか

◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

○チャレンジ品目、リーディング品目等への支援

- ・老木化がすすむハナモモの植え替え支援（36a）
- ・柿：生産性及び品質の向上を図る「縮伐・せん定見本園」の設置（5か所・80a）
- ・アマゴ：産卵場造成、卵及び親魚の放流
- ・アユ：健全な種苗の養成及び放流



柿園での見本園の設置  
（縮伐・せん定作業）

○首都圏等への県産農産物の物流確保支援

- ・首都圏へ宅配便を利用した農産物供給の取組補助
- ・首都圏等への物流確保を目的として、出荷者と運送業者とのマッチングや意見交換会を実施（マッチング件数 3件）



農産物・農産加工品の商談会  
（東京都内）

○首都圏等への県産農産物等の商流確保支援

- ・東京都内の農産物及び農産加工品の商談会に県内事業者が出展可能な奈良県ブースを確保（商談成約実績 6件）
- ・県内の出荷者と首都圏の実需者との個別の商談に対し、その初回分の往復旅費を県が負担（6者が商談）

○農地マネジメントの推進

- ・県、なら担い手・農地サポートセンター、市町村、農業委員会をメンバーとする農地マネジメントチームにより、担い手への農地のマッチング活動を実施
- ※南部・東部地域で35.2haのマッチングを実施（R元年度実績）



農地の貸し借り（マッチング）を実施する  
農地中間管理事業制度をPR

○総合的な被害対策の支援

- ・被害状況調査（4月～6月）
- ・若手狩猟者確保のための各種活動実施（4月～3月）
- ・国交付金、県補助金事業実施（各市町村で有害鳥獣捕獲を実施）
- ・人材育成のための講習会開催（8月～2月）
- ・ならジビエ料理フェアの開催（1月～3月）

○個体数調整

- ・森林被害緊急対策広域協議会を開催し、シカ捕獲事業実施（7月～10月）
- ・ニホンジカ個体数推定および現地調査（10月～1月）
- ・（第6次）ニホンジカ・（第4次）イノシシ第二種特定鳥獣管理計画の策定（平成29年4月～5カ年計画）



捕獲現地研修

# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （1）働きやすくする【2/2】

### ◇取組内容

- 「全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進
- 企業誘致の推進
- 漢方のメッカ推進
- 地域の産業興し 他

### 【令和2年度 主な取組】

#### ①奈良県木材生産推進事業【R2年度予算 240,187千円】

第1種木材生産林において、長期間使用できる壊れにくい作業道の重点開設等による木材生産拡大への取組に対し補助。奈良型作業道重点開設。

- ・木材生産強化（利用間伐）
- ・林業機械導入
- ・林業機械レンタル
- ・架線集材施設設置支援

#### ②<sup>新</sup>奈良の木サプライチェーン構築事業【R2年度予算 3,100千円】

川上から川下までの連携を強化することにより、各流通段階の需要マッチング・コスト削減を図る

- ・流通構造をコーディネートできる人材の養成（勉強会開催）
- ・需給把握のための調査および調整会議の実施

#### ③県産材首都圏販路拡大事業【R2年度予算 17,901千円】

首都圏の商業施設や住宅等への新たな販路の開拓

- ・販路拡大マッチングアドバイザーを活用した首都圏等の建築関係者に対するセールスの実施
- ・早稲田大学や民間企業と連携した県産材PRイベントの開催
- ・首都圏の建築関係者等を対象とした「奈良の木」視察アテンド

#### ④漢方のメッカ推進プロジェクト事業【R2年度予算 32,367千円】

- ヤマトウキの生産量拡大のための機械導入、機械作業の委託に対する支援
- 薬用作物（ヒロハセネガ）について、研究開発された技術の普及を図る
- 奈良県ゆかりの薬用植物の安定供給を目指した研究の実施
  - ・ヤマトウキの地域ブランド力を高める生産技術の開発
  - ・宇陀地域に適した薬草栽培技術の開発
- 県産薬用作物の医薬品以外の部位を利用した新たな食品を開発
  - ・薬用作物の成分分析、機能性評価方法の確立、加工方法の研究
- 奈良県漢方のメッカ推進協議会の運営、講演会の開催。首都圏及び近畿圏での大規模展示会への出展

#### ⑤企業立地促進補助事業（南部・東部地域振興補助金）

【R2年度予算 100,000千円】

南部・東部地域に立地する企業活力集積促進補助金の対象企業に対し南部・東部地域振興補助金を加算

- ・加算額：固定資産投資額 5億円以上 1千万円
- 10億円以上 2千万円

#### ⑥制度融資 創業支援資金（南部・東部枠）【R2年度融資枠 200,000千円】

奈良県南部地域・東部地域で創業しようとする者を対象とする資金

- 資金用途：設備・運転
- 融資期間：7年以内
- 貸付限度額：150万円
- 融資利率：0.000%
- 貸付枠 2億円

## ◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

### ○儲かる施業森林の掘り起こしと施業提案

- ・施業提案チームによる施業提案森林の掘り起こし、候補森林の現地調査等を実施（5箇所・3市村：宇陀市・明日香村・天川村）
- ・施業提案森林において木材生産を実施（13団地・7市村）（宇陀市・明日香村・曾爾村・十津川村・東吉野村・天川村）
- ・森林経営管理制度に関する市町村支援を実施（全市町村・162回）
- ・リース林業教育センター短期講習へ県・市町村職員等を派遣
- ・大規模製材工場と川上（山側）との安定取引契約の実現
- ・小規模製材工場のネットワーク化とその中核となる加工工場の設立の検討

### ○首都圏等や海外での販路開拓の推進

- ・県産材首都圏PRイベントの開催 @東京KITTE
- ・首都圏の木材市場での県産材PRの実施
- ・首都圏の建築・設計担当者を対象とした「奈良の木」視察アテンド
- ・木材輸出に特化した海外販路開拓セミナーの開催
- ・ベトナムでの県産材PRイベント、セミナーの開催



ベトナムでの県産材PRイベント

### ○食用きのこの人工栽培技術の開発

- ・バカマツタケの林内での定着ときのこの発生、試験地の拡大



バカマツタケの林内での発生

### ○奈良県産スギ材を用いた弦楽器の開発

- ・3種の弦楽器の製作と音響試験の実施
- ・弦楽器を用いた県産優良材のPR活動（展示、演奏会など）

### ○木材の利用、森林・林業の試験研究及び技術開発

- ・奈良県産スギ材・ヒノキ材を用いた防音フローリングの開発研究、中長距離集材に適合した架線システムの構築、ほか6課題について、調査・研究を継続的に実施



吉野スギを用いた  
チェロ・ビオラ・バイオリンの演奏

### ○中南和振興のための産業集積地の形成を推進

#### ○企業立地促進補助事業（南部・東部地域振興補助金）

- ・令和元年度実績 1件 五條市

#### ○制度融資 創業支援資金（南部・東部枠）

- ・令和元年度実績 14件 飲食、建設、小売 ほか



京奈和自動車道御所IC周辺

# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （２）暮らしやすくする

### ◇取組内容

- 健康・医療・福祉・介護の充実    ○教育の充実
- 移動手段の確保                    ○集落の維持・活性化 他

### 【令和２年度 主な取組】

#### ①南和地域公立病院整備支援事業【R2年度予算 330,365千円】

南和広域医療企業団による南和地域公立病院整備への支援  
・企業団構成市町村に対する起債償還金補助

#### ②自治医科大学運営費負担金【R2年度予算 129,800千円】

在学生 14人 卒業生 95人（現在43期生まで）  
自治医大卒業医師等の派遣：へき地診療所等派遣人員 10人

#### ③ドクターヘリ運航推進事業【R2年度予算 260,550千円】

県独自のドクターヘリ運航に要する費用に対し補助  
消防機関や国・他府県等、関係機関との調整  
・実施主体：奈良県立医科大学

#### ④へき地診療所医師確保支援事業（へき地診療所への人件費補助）

【R2年度予算 5,853千円】

補助対象：へき地診療所に勤務する医師に係る人件費（自治医大卒業医師等を除く）  
実施主体：宇陀市、山添村、御杖村、十津川村、川上村  
補助上限：2,400千円

#### ⑤南部地域における産業連携教育支援事業【R2年度予算 6,000千円】

南部地域の振興に貢献できる人材を育成するため、職業教育に必要な実習備品を整備  
対象：御所実業高校 トータルステーション

#### ⑥奈良県基幹公共交通ネットワーク確保事業【R2年度予算 203,534千円】

・利用目的に応じた交通サービスを確保するため、広域の路線バス等の運行に対し補助  
・市町村連携による路線バスの広域コミュニティバス等による代替運行に対し補助  
・補助対象系統を運行するノンステップバス等の導入に対し補助

#### ⑦南部・東部地域づくり推進支援事業【R2年度予算 16,500千円】

南部・東部集落づくり支援事業（南部・東部）  
南部・東部地域における定住促進、空き家の利活用等の集落づくりプロジェクトを推進するため、市町村が必要とする技術的支援を実施

◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

○介護予防・日常生活支援の充実

市町村職員の地域マネジメント力向上を支援するため、  
総合事業充実のノウハウを有するアドバイザー  
によるワークショップを開催（黒滝村）



市町村地域マネジメント推進研修  
（橿原総合庁舎）

○東和及び南和の地域包括支援センターで構成する  
連絡会の運営支援

○地域ケア会議を活用して自立支援に取り組む市町村への支援

・県内市町村と地域包括支援センター、リハビリ等専門職団体と連携し、市町村での  
自立支援型地域ケア会議運営のノウハウを盛り込んだマニュアルを作成

○地域の実情に応じた入退院調整ルール策定における  
市町村への支援

・患者が入退院する際に病院と介護（ケアマネージャー）が円滑に  
引き継ぎできるよう、南和地域での情報提供等のルール（入退院  
調整ルール）づくりを支援

（五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、  
野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村）



南和入退院調整ルールづくりキックオフ  
会議（南奈良総合医療センター）

○ドクターヘリの運航

・R1ドクターヘリ出動件数 南部地域202件、東部地域72件  
（県全体 493件）

○地域産業を支える人材の育成に必要な備品の整備

- ・十津川高校：レーザー加工機
- ・吉野高校：端面研磨機



ドクターヘリ



レーザー加工機（十津川高校）



端面研磨機（吉野高校）

# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （3）いざというときに備える 【1/2】

### ◇取組内容

- 紀伊半島アンカールートの整備
- 効率的・効果的な道路防災対策の推進

### 【令和2年度 主な取組】

#### ①五條新宮道路の整備推進（国道168号）【R2年度予算 2,640,750千円】

紀伊半島アンカールートを形成する「五條新宮道路」の早期整備  
事業実施箇所：阪本工区、新天辻工区

#### ②直轄道路事業費負担金（南部・東部）【R2年度予算 4,780,000千円】

再掲

事業実施箇所  
・京奈和自動車道、大和御所道路  
・国道168号 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区  
・国道169号 伯母峯峠道路

#### ③災害に強い道路ネットワークの整備推進【R2年度予算 8,113,492千円】

再掲

事業実施箇所  
国道169号高取バイパス、五條吉野線、五條高取線、赤滝五條線、ほか

#### ④道路災害防除事業（南部・東部）【R2年度予算 2,075,030千円】

道路斜面で崩落等の兆候がある箇所や、法面の危険度、路線の重要度等を総合的に判断して対策を優先すべき箇所では法面・落石の防災対策を実施  
国道168号外 20路線

#### ⑤道路施設点検・診断事業(南部・東部)【R2年度予算 406,350千円】

効率的・効果的な補修・修繕を実施するため、橋梁・トンネルや道路法面の点検を実施

#### ⑥橋りょう耐震補強事業（南部・東部）【R2年度予算 370,650千円】

耐震補強が必要な緊急輸送道路の橋梁の対策を重点実施  
国道168号大川橋 外5路線13橋

#### ⑦道路施設老朽化対策事業(南部・東部)【R2年度予算 1,940,400千円】

長寿命化修繕計画に基づく補修・修繕を実施  
・国道169号大里トンネル 外66トンネル  
・国道169号増口歩道橋等の大型構造物  
・五條吉野線紫橋 外38橋

◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

○国道168号五條新宮道路の整備推進

【阪本工区(県)、新天辻工区(県)、長殿道路(国)、  
風屋川津・宇宮原工区(国)、十津川道路(国)※1、  
十津川道路〔Ⅱ期〕※2】

※1十津川道路(国)の全線開通 (R1年9月)

※2十津川道路〔Ⅱ期〕(国)の直轄権限代行による  
新規事業化の決定 (R2年3月)

《道路施設の老朽化対策》



国道168号 大川橋(五條市野原西)

○国道169号の整備推進

【御所高取バイパス(県)、高取バイパス(県)、伯母峯峠道路(国)※】

※伯母峯峠道路(国)の工事着手 (H30年12月)

○災害に強い道路ネットワークの形成

地域を支える主要な道路ネットワークの形成

県道高野天川線 上工区(野迫川村池津川)等

○道路防災対策

法面や路肩の道路防災対策の推進

国道168号(五條市大塔町小代)等

○道路施設の老朽化対策

橋梁、トンネル、大型構造物の老朽化対策の推進

橋梁：国道168号 大川橋(五條市野原西) 等

トンネル：国道168号

津越野トンネル(十津川村川津) 等

○市町村管理道路施設の老朽化対策

市町村が管理する道路施設の点検・  
診断及び修繕工事を垂直補完・水平  
補完により支援



県道高野天川線 上工区  
(野迫川村池津川)  
【R2年3月 11工区開通】



# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （3）いざというときに備える 【2/2】

### ◇取組内容

- 土砂災害対策の推進と山地災害予防と復旧
- 河川整備
- 災害に強い森林づくり
- エネルギーの確保
- 防災力向上と紀伊半島大水害の経験・教訓の次世代への継承
- 紀伊半島大水害からの復旧の完了 他

### 【令和2年度 主な取組】

#### ①直轄河川事業費負担金（南部・東部）【R2年度予算 1,811,724千円】

紀伊山系における大規模土砂災害対策等、紀の川における河川整備

#### ②通常砂防事業（南部・東部）【R2年度予算 3,128,511千円】

砂防設備の設置により、土石流等による被害から人家等を保全

- ・補助事業：五條市大塔町辻堂地区 外77箇所
- ・単独事業：曾爾村掛地区 外5箇所

#### ③治山事業【R2年度予算 1,216,013千円】

自然現象に起因する山地災害の復旧と未然防止のための施設整備、良質な水や安全な生活を確保するため、水源のかん養や国土保全機能が低下した保安林において森林整備等を推進

- ・山地治山 26箇所
- ・水源地域等保安林整備 5箇所

#### ④南部東部地域河川改良事業【R2年度予算 348,800千円】

南部東部地域における治水安全度の向上を図るため、河川改良を実施 紀の川 外31河川

#### ⑤施業放置林の整備に関する事業【R2年度予算 436,151千円】

○森林の公益的機能の増進を図るため、施業放置林について強度の間伐等を実施

- ・実施場所 十津川村外21市町村（事業量 1,070ha）

#### ⑥スマートハウス普及促進事業【R2年度予算 25,700千円】

緊急時のエネルギー対策及び省エネ対策のため、住宅等へ創エネ・蓄エネ設備を設置する県民に対し補助

#### ⑦奈良県大規模広域防災拠点関連道路調査【R2年度予算 24,000千円】

大規模広域防災拠点の検討に合わせ、防災拠点へのアクセス道路の調査を実施

#### ⑧大規模広域防災拠点整備事業【R2年度予算 125,258千円】

近い将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震等に大規模災害に備えるため、五條市に「大規模広域防災拠点」を整備

◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

○治山事業による復旧

- ・（令和元年度末）県実施箇所50箇所のうち47箇所完了、残り3箇所
- ・（令和元年度末）国実施箇所26箇所のうち7箇所完了、残り19箇所



民有林直轄治山事業 十津川村折立

○スマートハウスの普及を促進

- ・応募件数 276件 ・普及実績 297件  
（内南部東部 17件）（内南部東部 17件）



復旧治山事業 川上村高原

○陸上自衛隊駐屯地の誘致

- ・国への要望活動（防衛事務次官、陸上幕僚長他）
- ・県民向けイベントの実施
- ・県南部陸上自衛隊駐屯地誘致推進協議会の活動支援

○大規模広域防災拠点の整備

- ・大規模広域防災拠点の計画に必要な航空測量の実施
- ・大規模広域防災拠点の整備構想検討

○自主防災組織の活性化、防災教育・啓発の推進

- ・安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣による支援や防災訓練支援（南部東部地域3回238人）
- ・自主防災リーダーの養成（南部東部地域：39人）



非常用LPガス発電設備



奈良県林野火災消火訓練



奈良県防災講演会



# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （４）移り住んでもらう

### ◇取組内容

- 二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり
- 二地域居住・移住を受け入れる拠点整備
- 移住者の働く場の確保 他

### 【令和２年度 主な取組】

#### ① 奥大和移住定住促進事業【R2年度予算 60,006千円】

奥大和地域の移住相談体制や地域受入体制、移住者拠点施設等の整備を進めるとともに、同地域の生活環境を向上させることにより、移住・定住の促進を図る。

- ・奥大和地域19市町村と協働で設置した「奥大和移住・定住連携協議会」で統一的な移住・定住施策を実施
- ・コミュニティナースの育成講座や研修を実施し、奥大和地域内での活動をサポート

#### ② 南部・東部地域づくり推進支援事業【R2年度予算 16,500千円】

再掲

南部・東部集落づくり支援事業（南部・東部）

南部・東部地域における定住促進、空き家の利活用等の集落づくりプロジェクトを推進するため、市町村が必要とする技術的支援を実施

#### ③ 奥大和雇用創造促進事業【R2年度予算 15,511千円】

奥大和地域への移住・定住を促進するため、魅力ある仕事づくりを推進

- ・「奥大和仕事づくり推進隊」を採用し、先駆的プロジェクトを推進
- ・国内及び海外デザイナーが奥大和に滞在し、デザイン制作やブランディングを提案するプログラムを実施
- ・奥大和で働く魅力を広く発信し、新たな雇用を創出

#### ④ 新 奥大和人材育成事業【R2年度予算 17,350千円】

- ・奥大和地域での持続可能な地域づくりを学ぶ講座の開催
- ・奥大和地域で活躍する人材を育成する講座の開催
- ・持続可能な宿泊施設経営に向けた研修会の実施

#### ⑤ 農業新規参入者支援事業【R2年度予算 6,216千円】

新規就農希望者に対し、なら食と農の魅力創造国際大学校での事前研修及び農家受入による実践研修を実施

#### ⑥ 林業機械化推進事業【R2年度予算 9,210千円】

機械化による省力化や生産コストの低減を図る

- ・管理運営事業
- ・研修事業
- ・林業労働力確保推進事業

◇ これまでの主な取組成果 ～令和元年度～ ◇

○移住者の交流拠点の運営

- ・「奥大和移住定住交流センター～engawa～」の移住・定住相談窓口を設置し情報提供を実施

○移住、二地域居住及び定住に向けた活動

- ・地域受入協議会の活動を支援（申請3件）  
五條市、宇陀市、御所市

○移住促進施設の整備

- ・市町村が実施する移住促進施設の整備に係る支援（申請3件） 東吉野村、曽爾村、下北山村

○奥大和移住・定住連携協議会の運営

- ・地域住民を対象に移住情報や地域の魅力を掲載した「Local Life journal」を12月、2月に発行
- ・移住希望者を対象に、移住者の暮らしや仕事、地域で活躍する人物等を紹介する「Local Life」を2月発行

○ふるさと創生協力隊の配置

- ・南部・東部地域の複数の市町村にまたがる広域的な地域振興活動に従事する人材を県で直接採用、配置

○協力隊への起業支援

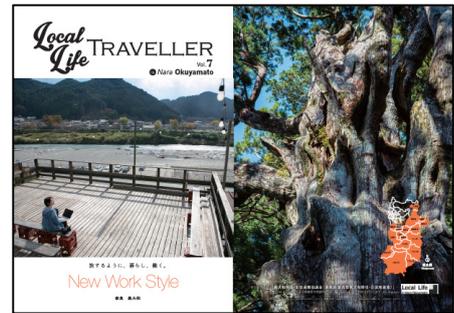
- ・奥大和仕事づくり推進隊の任期終了を迎える隊員等に対し、起業に要する経費について支援（1名）



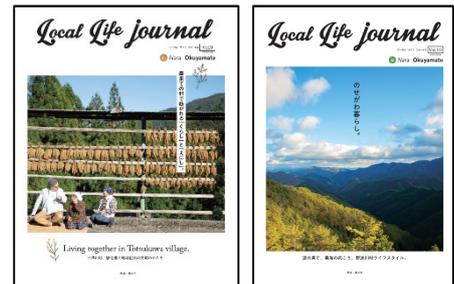
奥大和移住定住交流センター「engawa」



移住促進施設の整備（東吉野村鷺家地区）



移住希望者向けパンフレット「Local Life」



地域住民向け「Local Life journal」  
（全戸配布）

